

西都原考古博物館少年団

宮崎県立西都原考古博物館少年団は、体験活動を通して古代の人々の生活や知恵を学び、考古学に関する興味・関心、文化財の保存と活用についての意識を高めることを主な目的に、活動します。

年間を通しての活動内容は、古代生活体験館でのものづくりや体験が主となります。

活動テーマは、「古代のくらしを楽しく学ぼう」です。県内の小・中学生が団員として6月から毎月1回、計9回の活動をします。以下、活動の様子を紹介します。

第7回「土器づくりをしよう！」 令和5年12月17日(日)

今回はオリジナルの土器づくりです。1人1kgの粘土を使い、紐状にした粘土を輪積みして形をつくります。継ぎ目を指で丁寧にならしていくことがポイントです。

形ができたら、模様を付けたり、飾りを付けたりします。このあと乾燥させ、1月に野焼きで焼けば完成です。できあがり待ち遠しいですね。



第6回「まが玉づくりのお店を開こう！」 令和5年11月5日(日)

今回は土器づくりのお店の運営です。まが玉は、磨くだけのもの(小:100円)を扱い、受付、席に案内、作り方の指導・チェック、まが玉に紐を通して結ぶ、机の掃除といった一連の流れを行いました。

みんな、体験者の方々に作り方を教えたり、机の掃除や水の汲み換えを行ったりとたくさんお仕事を頑張っていました。

終了後、年に1日だけ開放される御陵墓の見学に行きました。年1回の行事であり、当館職員の見学もあってみんなワクワク・ドキドキといった様子でした。



第5回「まが玉をつくろう！」 令和5年10月29日(日)

今回はまが玉づくりを体験しました。まが玉は、学校団体でも使用している「団体用まが玉(中)」です。まが玉制作経験のある団員は、まが玉の形に切り出したものではなく、切り出す

前の板状の滑石から自分でデザインして制作しました。今回の目的は、きれいなまが玉の制作と次回「古墳まつり」での体験者にまが玉づくりを教えるために、制作方法を覚えることでした。このため、細かなところまで注意して自分だけのまが玉を作り上げました。



第4回「石庖丁を作って稲穂を摘もう！」 令和5年9月18日(月祝)

今回は石庖丁の制作と稲刈り（穂摘み）を体験しました。

まず、古代生活体験館にて石庖丁や古代米の説明を聞いた後、石庖丁を作りました。石は西米良村産出の赤色頁岩で、石庖丁の形状に荒く割ったものを砥石（目の粗いものと細かいもの）で研いで作りました。刃の部分は表裏両面を研ぎますが、それ以外の部分は尖っている部分などを削る怪我防止加工もしました。

石庖丁完成後は実験水田に移動し、古代米の穂摘み体験を行いました。団員は、ナイフのように切る方法と刃を視点にしてちぎるように摘む方法を試し、摘む方が楽に収穫できるのかわかると我先にと収穫していました。1月には古代食として、この古代米を食べる予定です。



石庖丁を研いでいます



石庖丁で穂摘みをしています



「たくさん実がついていたよ！」

第3回「魚を捕まえて食べよう！」 令和5年8月26日(土)

今回は魚を捕獲・調理・実食を体験しました。魚は鮎です。川魚に触るのも初めて、食べるのも初めてという団員もいました。手掴み・網など自分で考えた方法で捕まえ、串を打ち、塩を振り、熾火で焼き上げ食べました。美味しいという感想も多かったです。見る・聴く・触る・匂う・味わうを一度に体験できました。夏ならではの体験となりました。



魚つかみ



串打ち



おき火で焼く



いただきます！

第2回「考古学って楽しい！」 令和5年7月29日(土)

今回は少年団・体験講座同時開催で「考古学って楽しい！—古墳について調べよう—」を実施しました。古墳について座学した後、粘土で古墳を作りました。3段で作られた前方後円墳です。葺石として砂利も貼り付けました。余った粘土で埴輪を作る団員もおりました。夏休みの課題にも使える工作にもなったかと思います。



第1回「結団式・博物館を探検しよう！」 令和5年6月25日(日)

博物館1階の多目的ホールで「結団式」を行いました。本年度は30組36名（結団式の出席者は33名）で活動していきます！

式の後には、バックヤードツアーとして展示室や収蔵庫、保存処理室を見学しました。

コロナ禍の中、感染症拡大防止対策等で活動に制限が多くなりますが、思い出に残る1年間にするべく職員一同頑張っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



結団式



館内見学（収蔵庫・金属製品）



館内見学（展示室）



館内見学（保存処理室）